

ほうれんそう



主な掲載内容(令和7年6月定例会)

定例会の概要……………2	一般質問……………6	表紙写真……………12
委員会審査……………4	全国市議会議長会表彰者……………11	編集後記……………12
討論・請願・賛否の状況・意見書…5	アロハ議会……………12	次期定例会日程(予定)のお知らせ…12

ほうれんそう/ほうこく・れんらく・そうだんの意味と、ほうれんそうから連想する「パワー」から活力ある議会活動をイメージしています。

令和7年6月定例会

いわき市再生可能エネルギー発電施設の適正な導入及び管理に関する条例の制定など

44議案等を可決・承認・同意

定例会の概要

令和7年6月定例会は、6月5日から19日までの15日間の日程で行われました。本会議初日に、市長から、条例の制定案2件、改正案7件及び補正予算案7件など、計26件の議案が提出され、主な提出議案について説明が行われるとともに、市政を取り巻く諸問題についての報告がありました。

また、本会議最終日には、市長から、条例の改正案3件、補正予算案1件、人事案3件及び諮問9件が追加提出されました。さらに、議員から、意見書案2件が提出されたほか、市民から、請願1件が提出されました。

これらの議案等について慎重に審議した結果、請願については不採択、それ以外については、いずれも原案のとおり可決・承認・同意しました。

条例制定

◆いわき市再生可能エネルギー発電施設の適正な導入及び管理に関する条例の制定

再生可能エネルギー発電施設の適正な導入及び管理を図る観点から、再生可能エネルギー発電設備の設置について事業者が遵守すべき事項等を定めるため、本条例を制定するものです。

【主な制定内容】

1 適用を受ける事業

発電出力10kW以上の事業（住宅等の屋根に設置される太陽光発電等適正な管理が見込まれるもの等を除く。）に適用する。

2 事業者の手続き

(1) 事業に係る計画の概要

に関する書類を作成し、提出しなければならない。

(2) 届出を行う前に、地域住民等に対し、事業の計画に関する説明会を開催しなければならない（固定価格買取制度（FIT）等で説明会等を開催する場合は省略可）。

(3) 工事に着手する30日前までに、その旨を市長に届け出なければならない。市が講じる行政指導等

3 市が講じる行政指導等

(1) 事業者に対し、必要な措置を講ずるよう指導・助言又は勧告することができる。

(2) 事業者が法令に違反している疑いがあると認められるときは、事業者の氏名等を国その他関係機関に通報するものとする。

(3) 事業者が正当な理由なく勧告に従わないときは、事業者の氏名等を公表することができる。

【施行日】令和7年10月1日

◆いわき市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

令和6年6月12日に公布された「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律」により児童福祉法の一部が改正され、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準について市町村の条例で定めることとされたことから、当該基準を定めるため、本条例を制定するものです。

【主な制定内容】

下表参照

【施行日】公布の日

人事案に同意

1 設備の基準

利用児童の年齢	設備の基準	面積
満2歳未満	乳児室又はほふく室及び便所	乳児室は1人につき1.65㎡以上 ほふく室は1人につき3.3㎡以上
満2歳以上	保育室又は遊戯室及び便所	保育室又は遊戯室は1人につき1.98㎡以上

2 職員の配置基準

利用児童の年齢	配置の基準	備考
満1歳未満	おおむね3人につき1人以上	半数以上は保育士とする。 1事業所につき
満1歳以上	おおむね6人につき1人以上	乳児等通園支援事業者は2人以上とする。

○固定資産評価審査委員

高田博章氏

○川部財産区管理委員

増井孝司氏

○川前財産区管理委員

宇佐見薫氏

○人権擁護委員

木村敏明氏

國井実氏

鶴沼美和氏

山本浩一氏

長谷川美晴氏

安達信夫氏

折笠空氏

根本ひめ子氏

遠藤真一氏

補正予算
— 主な事業 —

〈令和7年度いわき市一般会計補正予算（第1号）〉

補正予算の総額 11億711万6千円

（仮称）泉南保育所園舎新築事業費 【補正額】4億7,473万8千円（令和7～8年度 継続費設定）

児童の安心・安全及び保育環境の向上を図るため、未耐震施設である泉保育所・下川保育所について、施設の状況や児童数の推移、周辺地域の保育環境などを勘案し、両施設を統合した新園舎を整備する。

総額	年度	年割額
11億1,023万円	令和7年度	4億4,409万2千円
	令和8年度	6億6,613万8千円



【担当：保育・幼稚園課 ☎22-7454（直通）】

ヨークいわきスタジアム機能向上事業費 【補正額】1億9,309万1千円

ヨークいわきスタジアムの機能向上を図るため、公園施設長寿命化計画に基づくスコアボードの改修と、施設利用の促進と交流人口拡大のためトイレの洋式化工事を行う。



【担当：公園緑地課 ☎22-7518（直通）】

〈令和7年度いわき市下水道事業会計補正予算（第1号）〉

補正予算の総額 6,099万5千円

下水道管路施設緊急点検 【補正額】6,099万5千円

埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を踏まえ、国土交通省による全国特別重点調査の要請に基づき、下水道管路の点検・調査を実施する。

【担当：下水道事業課 ☎22-1195（直通）】

救助工作車Ⅱ型



- | | | |
|---|------|---------------------|
| 7 | 納期 | 令和8年3月31日 |
| 6 | 配置場所 | 勿来消防署 |
| 5 | 取得方法 | 一般競争入札による
物件供給契約 |
| 4 | 目的 | 常備消防用 |
| 3 | 価格 | 1億6896万円 |
| 2 | 数量 | 1台 |
| 1 | 名称 | 救助工作車Ⅱ型 |
- 令和7年度消防車両整備事業として、消防隊の災害出動時における機動力及び消防活動の向上を図るため、老朽化した消防車両を更新するものです。

財産取得

委員会 審査

本会議5日目の6月12日及び本会議最終日の19日に、計30議案及び請願1件の付託を受けた4常任委員会は、6月13日及び19日に委員会を開催し、議案等の審査を行いました。

その結果、議案については、いずれも原案のとおり可決・承認、請願については、不採択とすべきものとの結論に達しました。

審査の過程では、様々な質疑応答等がありましたので、その一部を掲載します。 

政策 総務

常任委員長

◆ 令和7年度いわき市一般会計 補正予算（第1号）

Q いわき・ら・ら・ミュウの道の駅供用開始までに必要な施設整備の費用負担は。

A 道の駅供用開始に伴う整備費は、今回の案内標識設置費用以外、全て市観光物産センターの対応となります。

◆ 財産取得

（消防団小型動力ポンプ付積載車 2WD）

Q 中山間地域での災害対応が想定されるため、非常備消防の4WD車の保有比率を増やすことについては。

A 基本的に中山間地域は4WD車、市街地は2WD車を配置しており、現在保有している車両を有効に活用し、災害対応を行っていきます。

市民 生活

常任委員長

◆ 令和7年度いわき市一般会計 補正予算（第1号）

Q 戸籍の氏名振り仮名表記事業の概要は。
また、通知に記載された振り仮名に誤りがあり、訂正の届出をしなかった場合の対応は。

A 本年8月中旬を目途に、各世帯へ戸籍に記載予定の振り仮名を記載した通知書を郵送します。記載内容に誤りがない場合は手続不要ですが、誤りがある場合は、令和8年5月25日までに訂正の届出が必要となります。

令和8年5月26日以降、職権により、順次通知書に記載された振り仮名が戸籍に記載されますが、誤った振り仮名であっても、届出がなされていない場合は、そのまま戸籍に記載されます。

記載完了後に訂正する場合、1回目は届出により変更可能ですが、2回目以降は、通常の氏名変更と同様に家庭裁判所の許可が必要です。

教育 福祉

常任委員長

◆ いわき市乳児等通園支援事業の設備 及び運営に関する基準を定める条例 の制定

Q 事業の本格実施に向け、保護者の理解が重要であると思うが、どのように考えているのか。

A 保護者の理解は大変重要であり、本年10月から開始予定のスタートアップ事業において、様々な方向から検討を行っていきます。

◆ 令和7年度いわき市一般会計 補正予算（第1号）

Q 体外受精・顕微授精のための遠方通院支援事業費に関わって、通院交通費の一部補助の回数の上限を8回とした根拠は。

A 県の上限にならうとともに、県における保険適用外の治療回数等を参考にしたところです。

産業 建設

常任委員長

◆ 令和7年度いわき市一般会計 補正予算（第1号）

Q 流域治水プロジェクト河川洪水ハザードマップ整備事業について、水防情報の標識を設置する場所の選定理由は。

A 本事業は、本市で初めて導入する事業であることから、まずは、モデル地区として、令和元年東日本台風で甚大な被害を受けた平下平窪と対岸に位置する平赤井地区を選定しています。

◆ 令和7年度いわき市競輪事業特別会計 補正予算（第1号）

Q 郡山場外車券売場の移転改築後の環境等は。

A 施設のコンセプトとして、最低限の機能を有するスマートな場外車券売場を考えており、バリアフリーやWi-Fi環境等を含め、利用者ファーストで施設整備していきます。

討論

討論とは？

表決に先立ち行う、議案等に対する賛成か反対かの自己の意見の表明

本会議最終日の6月19日には、市長から提出された議案に対し、反対及び賛成の立場から討論を行いましたので、その主なものを掲載します。

なお、本議案は、賛成多数により可決しました。

いわき市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

反対



本条例は、こども誰でも通園制度を基に、基準を定めるものとなっており、日常的な保育の質の確保が難しくなるなど、子供の健康や安全上への重大なリスクが懸念され、預かる保育所の負担が大きくなる。また、当該制度は、子供中心の立場に立っておらず、いわき市こども計画の目指す方針とも合致しないことから、反対である。

こども誰でも通園制度は、全ての子供の育ちを応援し、子供の良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭がライフスタイル等に関わらず柔軟に利用できる制度であり、こども基本法で定める基本理念を反映する意味でも重要である。

賛成



よって、事業を利用する子供が心身ともに健やかに育成されることを保障するため、基準を適切に定めておく必要があることから、賛成である。

請願

今期定例会では、市民から次の請願が提出され、本会議最終日には、本請願について、賛成及び反対の立場から討論を行い、採決の結果、不採択となりました。

○ 常磐地区市街地再生整備事業計画における御幸山公園整備に関する事業計画の見直しと当該区域の災害防止のための措置に関する請願書

【請願要旨】 私たち市民の暮らしの安全が公共事業によって損なわれることのないよう、そして自然環境の保護の観点からも、御幸山公園整備事業計画の見直しを求め、かつ、目前の災害を防止する措置として、当該区域の石積み擁壁や法面の整備を講じていただけるよう請願いたします。

不採択

具体の整備計画が策定されていない段階であることを踏まえると、現時点で本請願を採択することは、整備全体の検討プロセスに制約を与えかねず、適切でないと判断することから、不採択とすべきである。

採択

請願事項は市民の暮らしと安全を守る立場から合理性があると考え、また、事故や災害を防ぐ措置を講ずる内容は最優先して対策しなければならないと考えるため、採択すべきである。

不採択

これから進められようとしている事業の基本方針や計画づくりの中で、区域の安全を求める請願の要望を具体化することが、住民の皆さんの思いに合致するのではないかと考え、不採択とすべきである。

採択

多くの近隣住民から、土砂災害等に対する不安から出されている請願であり、住民の安全・安心を確保したうえで、納得と合意を得て当該事業計画を進めるべきであり、採択すべきである。

議案に対する賛否の状況

本会議最終日の6月19日には、今期定例会に提案された議案等に対する採決を行いました。採決の結果、賛否の分かれた2議案等について、会派ごとの賛否の状況を掲載します。

※ 下表中の（ ）は、会派の所属議員数です（議長は採決に加わりません）。

議案等名	議決結果	政風会 (13人)		創世会 (6人)		真政会 (6人)		公明党 (4人)		共産党市議団 (3人)		正論 (1人)		市民の会 (1人)		誠心誠意の会 (1人)		拓く会 (1人)		日本維新の会 (1人)		
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	
いわき市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	12		6		6		4		3	1		1		1		1		1		1	
常磐地区市街地再生整備事業計画における御幸山公園整備に関する事業計画の見直しと当該区域の災害防止のための措置に関する請願書	不採択		12		6		6		4	3			1		1		1		1		1	

意見書

市議会では、市だけでは対応することが困難な問題の解決を求めるため、国会または関係府庁に対し、意見書を提出しています。今期定例会では、次の2件を可決しました。

- 事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書
- 米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書



詳細はこちらから▲

20名の議員が4日間にわたって論戦を展開

そこが知りたい

一般質問



一般質問は、6月9日から12日までの4日間にわたって行われ、20名の議員が質問を行いました。その中から主なものを掲載します。

なお、この文章は質問議員自らが作成しており、行数は発言時間に比例します。

■QRコードを読み込むと、質問議員の録画映像にリンクします。

国民健康保険事業の取組は

政風会
山守 章二

問 国保財政の収支見直し等について、令和11年度までの収支見直しは。

答 所得の増に伴う国保税収入の増が見込まれることから、昨年度と比較し収支が改善する見通しとなりました。このことから、本年度は国保税率を据え置き、令和8年度に税率を改定する場合、令和11年

度の国保基金残高を、約6億6000万円程度確保することが可能と見込んでいます。

本市の公共投資関連の予算は

問 維持補修費の県内の他の中核市との比較は。

答 今年度の一般会計当初予算における県内の他の中核市との比較について、まず、予算額は本市の約32億9000万円に対し、郡山市が約20億8000万円、福島市が約16億6000万円となっており、また、歳出予算の合計に占める比率は、本市の2・2%に対し、郡山市が1・5%、福島市が1・3%となっています。本市が他市と比較し、高水準である主な要因は、1つ目は、公共施設の数が、郡山市が約1000施設、福島市が約700施設であるのに対し、本市は約1300施設と多く、施設の維持補修費が高くなっていること。2つ目

は、これまでの予算編成過程において、市民サービスの低下を招かないよう、一定水準の確保に努めてきたこと。3つ目は、現在、構造改革の取組として公共施設等の集中保全に努めていることです。

政風会
川崎 憲正

いわきF.C.・新スタジアム整備は

問 候補地を小名浜港に選定する過程での市の関わりは。

答 市ではいわきスポーツクラブと連携しながら、土地所有者である県と協議・調整を重ねてきました。県からは土地の使用に当たり、交通混雑対策、駐車場の確保、及びそれらを踏まえた港湾関係者との合意形成など、明確な条件が示されたところです。

問 候補地を小名浜港に選定する過程での市の関わりは。

本市の水道事業政策は

問 安全確保を図る上での体制は。

答 水質検査の体制について、自己検査で実施しており、水質管理センターには職員5名を配置し、定期検査のほか、

水源に異常があった場合などの臨時の水質検査を実施しています。また、各浄水場では、職員及び浄水場の運転管理受託者が24時間体制で水道水の水質のモニタリングと、毎日検査を行っています。



▲ 水質検査の様子

四倉地区交流・防災拠点施設整備事業は

問 四ツ倉駅西側の工場跡地の取得は。

答 所有者である住友大阪セメント株式会社との間で、本年5月27日に土地売買の仮契約を締結し、本定例会に土地取得に係る議案を提出しています。なお、契約に当たっては、地中に建築物の基礎等が埋設されたままであることから、埋設物を市が撤去し、そ

の撤去費用を土地売買価格から控除した価格を土地取得価格としています。

創世会
佐藤 和良

市配食サービス事業のサービス低下の防止を

問 制度見直しの再検討を。

答 早急に事業者の皆様との協議の場を設け、協議を重ねながら、持続可能な制度の在り方について検討します。

まちづくりビジョンなき公共施設の統廃合は

問 危惧の声をどうみるか。

答 来年は市制60周年の節目、市制100周年までを見据えた政策ビジョンを、市民と共に創りあげる考えです。

いわきF.C.新スタジアム整備の諸課題

問 市民の安全確保は。

答 防災や交通対策など、ハード、ソフト両面から検討を進めます。

問 津波被災地域への公共施設の配置はやるべきでは。

答 慎重に検討すべきものと認識しています。

問 福島臨海鉄道の旅客化は、福島臨海鉄道や関係機関とも意見交換などを行いながら、検討を重ねます。



真政会
小野 邦弘

全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会男子の開催に向けた取組は

問 本年度、新たにどのような取組を実施するのか。

答 本市における新たな取組は、出場する代表校に、大会開催前の事前合宿地として本市を選んでいただけるよう、2つの補助事業を実施します。1つとして、市内の宿泊施設を利用し、事前合宿した際、宿泊費の一部を補助します。2つとして、宿泊施設か



▲カウントダウンボード設置式の様子

ら練習会場等への移動のために市内のバスを借り上げた際、その経費の一部を補助します。

本市の救急医療体制における新たな休日輪番体制は

問 新たな輪番体制は、どのような体制なのか。

答 いわき市病院協議会では、休日及び夜間の二次救急医療を確保するため、救急告示病院6病院、及び救急協力病院7病院の協力の下、救急搬送患者を当番制で受け入れる「休日夜間輪番体制」を構築しています。新たな体制では、毎日1つの救急告示病院に当番を割り当て、当番の病院は原則として救急搬送患者の受け入れを断らないこととし、18時から21時は、救急協力病院がサポートする体制としています。新たな体制導入後の状況は、「搬送困難症例」の件数が、4月と5月の合計では、138件、割合では約71%減少していることから、新たな輪番体制の効果が表れていると考えています。

■その他の質問

○地域おこし協力隊の現状と今後の取組内容は
○磐越東線活性化の取組は



政風会
長谷川貴士

本市の行政DX推進に向けた取組は

問 行政DXを推進するためにLOGOフォームをどのように活用しているのか。

答 LOGOフォームは、専門的な知識を必要とせず、職員が簡単に申請フォームを作成できるツールです。行政手続のオンライン申請受付、アンケートやパブリックコメントの実施、オンライン決済による手数料の徴収なども可能です。本ツールの活用を促進し、各課等が所管する申請や手続のオンライン化を進め、市民の利便性向上につなげていきます。

市街路樹管理計画目標達成への維持管理手法は

問 市街路樹管理計画ではどのような維持管理を進めているのか。

答 本計画では、路線の利用状況などにより、街路樹の管理区分として予防保全路線と事後保全路線に設定しています。市街地などの予防保全路線においては、良好な樹形を

保つための剪定など、計画的な管理を行います。一方、事後保全路線においては、道路パトロールによる点検や、地域の皆様からの通報・要望を踏まえ対応することとしています。加えて、道路環境に応じて支障となっている街路樹の伐採や撤去を行うことにより、総量の適正化を図ります。この計画に基づき、計画的かつ持続可能でメリハリのある維持管理を進めていきます。

■その他の質問
○市民の健康増進に向けた取組は



公明党
柴野 美佳

市営住宅について

問 浄化槽管理費の市による徴収事務の取組は。

答 希望する団地において市が徴収を担う方針としました。

障がい児・障がい者支援について

問 5歳児健診の実施は。

答 早期に実施できるように検討するとともに、実施までの代替策として5歳児サポート

事業を実施する予定です。

問 保育所等訪問支援事業は。

答 保育所、幼稚園、小中学校、高等学校等に在籍している18歳までの障がい児が対象の障害福祉サービスです。

問 医療的ケア児家族支援の在宅レスパイト事業創設を。

答 ニーズの把握を行い、他市の事例や動向を注視し、調査、研究していきます。

「在宅レスパイト」
訪問看護事業者の看護師等が、在宅で生活する医療的ケア児の家族に代わって介護等を行い、家族の休息時間の確保と介護負担の軽減を図る制度。

LED聞き取り困難症・APD聴覚情報処理障害について

問 市民の理解促進を。

答 現状を把握し、適時適切に対応していく考えです。





共産党市議員
菅野 宗長

高齢者補聴器購入補助制度の導入に向けて

問 本年2月定例会で請願が採択されたことを受けての市の対応は。

答 請願が採択されたことを重く受け止め、国への要望を継続するとともに、先行自治体の取組も参考とし、医療関係者や関係団体等の意見も伺いながら調査・研究したいと考えています。

学校給食共同調理場の統廃合は

問 建て替えに向けて、関係者にメリット、デメリットの情報公開し、納得と合意を得て進めるべきでは。

答 具体的な方針の策定に併せ、適切な時期に整備・運営手法に関する情報提供を行うなど、関係者の理解を得ながら事業を進めていきます。

いわき市再生可能エネルギー発電施設の適正な導入及び管理に関する条例は

問 福島市のように「ノーモアメガソーラー宣言」等、禁止区域を設ける条例を作るべ

きでは。

答 再エネ発電事業は、関係法令の許認可手続を経て実施されます。これら許認可を取得した事業に対し、後発の条例により法の範囲を超えて規制する場合、事業者等の財産権や、営業の自由等の権利保障にも留意する必要があります。このため、本市では、禁止区域等は設けず、再エネ発電事業が各種法令に基づく許認可を適切に取得しているか、また、施設が将来的にも適切に運営されるか、という点を柱とした条例案としました。



創世会
狩野 光昭

働く人の雇用確保と労働条件向上を

問 三菱ケミカル(株)小名浜工場の生産終了で影響が生じる従業員に対する市の対応は。

答 市内で再就職希望の従業

員の方が、希望にかなうよう、きめ細かく対応します。

問 最低賃金1500円の早期実現に向けた、市の考えは。

答 最低賃金の引上げは、経済の好循環につながる観点から有効であると考えます。本市では、国の助成金を活用して経営力の強化に資する取組を推進しています。

学校給食での有機農食材の活用は

問 アレルギー等で学校給食の提供を受けていない保護者へ給食費相当額の助成を。

答 助成する場合の課題を整理する等、調査研究します。

問 学校給食に有機農食材を積極的に活用すべきでは。

答 持続可能な農業への理解を深める観点から有効であり、有機米の学校給食での使用に向け検討を進めていきます。



真政会
小菅 悟

いわきFC新スタジアムについて

問 モデルとする先行事例について。

答 先行事例としては、民間



▲令和6年度に実施したいわきFCの今後のあり方に係る意見交換会の様子

主導で整備された、長崎市の長崎スタジアムシティと、今治市のアシックス里山スタジアムの2つが特に参考になるものと考えています。いずれの事例についても、試合のみならず、防災の視点、官民連携の手法等で様々な工夫がなされています。特に、長崎スタジアムシティについては、多機能複合型の施設モデルとして、また、アシックス里山スタジアムについては、資金調達の手法や自治体との連携手法など、それぞれに参考になることから、これら事例の研究もさらに深めながら、本市の関わりのある方について検討を進めていく考えです。

問 スタジアム計画の公表について。

答 クラブからは、新スタジアムの整備計画はJリーグに対する来年度のライセンス申請に係る添付書類の1つであり、非公表であると同っています。しかしながら、新スタジアムについては、市民の皆様への関心度も高く、本市の将来のまちづくりにも及ぼす影響も非常に大きいと考えられることから、公表できる範囲や時期について、今後、クラブと協議していく考えです。

その他の質問

○野球文化の振興について

○常磐地区市街地再生について

○市民との共創によるまちづくりの推進について



政風会
佐藤不二夫

SDGs(持続可能な開発目標)の実現に向けた取組は

問 今後の取組は。

答 国連関係職員による、SDGsをテーマとした市内学校への出前講座や、子供たちがSDGsを軸に、平和で豊かな世界について語り合う

「国連を支える世界子ども未来会議」の本市開催などを検討しています。

持続可能な

避難所運営に向けて

問 避難所の段ボールベッドの備蓄状況は。

答 令和6年度から9年度にかけて500台を購入し、市内防災備蓄倉庫等に保管する予定です。

問 校舎のトイレ利用は。

答 各学校との協議が整い、利用可能となっています。



▲段ボールベッド組立の様子

中山間地域の

諸課題について

問 衛星通信を活用した文字

答 携帯電話事業者に対し、

携帯電話不感地域の住民に、このサービス等を広く周知するよう働きかけます。

問 自動体外式除細動器（AED）の設置は。

答 設置費用をはじめ、設置場所や管理方法等について、庁内関係部署と連携しながら課題を整理していく必要があると考えています。

■その他の質問

○下水道管路の緊急点検調査について

○（仮称）いわき太陽光発電事業の状況について

○遠野町の市道白幡・表線の現状等について



いわき市医療センターの包括外部監査への対応は

問 研究研修費のうち応援医師に対する人件費の取扱いに係る指摘の概要は。

答 応援医師との委託契約書の内容に技術指導が含まれず診療業務のみとなっていること、技術指導に係る記録がないこと、技術指導分だけを一般会計繰出金の対象とすべきであることの3点です。

問 不適切な取扱いによる医療提供体制への影響は。

答 あくまで事務手続上のこととであり、医療サービス提供への影響はありません。

問 是正策は。

答 今年度から非常勤医師労働条件通知書に依頼業務を明記し、技術指導と診療業務を区分した上で予算対応します。



スタジアムでどうまちづくりを進めるか

問 スタジアム計画の4つのビジョンの評価は。

答 4つのビジョンは、スタジアムを地域共創のエンジン、新たな地域価値創出の場と捉えており、人口減少社会と向き合い、地域課題を乗り越え、ウェルビーイングなまちづくりを進める上で共感できるものと考えています。

「スタジアムに求める4つのビジョン」

- 1 まちの構造を変えるスタジアム
- 2 常に時代の先をゆく可変的スタジアム
- 3 教育・学びを支えるスタジアム

タジアム
4 人が集い「偶然の出会い」が生まれるスタジアム

問 スタジアムを子供たちがワクワクしながら探究を深める場にすべきでは。

答 エージェンシー（自分で目標設定し、振り返り、責任をもって行動する能力）の育成は重要であり、4つのビジョンは、STEAM教育（科学、技術、工学、芸術、数学などを実社会での問題発見と課題解決に生かす横断的な教育の概念）等の考え方に通じると捉えています。

問 小名浜東港に設定されている「緑地」を市民が入れる空間として整備すべきでは。

答 休憩緑地は一般の方の立ち入りが制限されています。当該緑地を有効活用することで魅力的な親水空間による賑わい創出に繋がる一方、荷役作業への配慮も必要です。来年度、県は港湾計画を改訂する

予定であり、有効な活用方を策を具体的に検討するよう、積極的に働きかけていきます。
問 マリンブリッジは開放の頻度を上げるべきでは。

答 本来の物流機能に支障が及ばないことを前提に、さら

なる賑わいの創出に向け、年間数日に限られている一般開放の頻度を、もっと高めるよう、県に働きかけていきます。



令和5年台風第13号の被害を受けた二級河川新川・宮川の改修計画は

問 改修計画区間の取組は。

答 現在、河川管理者の県は、改修予定区間を、新川は宮川との合流部より上流側の延長約3・9km、宮川は新川との合流部より上流側の延長約3kmとし、地形等の測量を進め、平面・断面計画等を検討しています。今年度は地域住民との合意形成に努め、詳細設計や河川改修に関する橋梁などの構造物の設計に取り組み、来年度以降は、用地取得を進め、早期の工事事業手に向けて取り組むこととしています。

問 改修計画区間以外の取組は。

答 県で現地測量を行い、流下能力を確保する堤防高上げを、昨年度、平谷川瀬の新田橋から平南白土の柳橋までの右岸側で実施し、今後は平尼子町の尼子橋付近などで進め

る予定です。また、河川内の土砂撤去を平南白土の高橋より下流側で実施し、今年度は、高橋から平菱川町の三崎橋までの区間で取り組む予定です。



防災庁設置に向けての取組は

問 誘致に至った経緯は。
答 本市では、災害に強いまちづくりを目指し各種取組を進めており、昨年12月に開設したCIFALジャパン国際研修センターでは、活動分野の一つとして、災害レジリエンスの強化を掲げ、取組を始めたところとあります。

中、石破首相が、平時から万全の備えを行うため、専任の大臣を置く防災庁を、令和8年度中に創設することを表明したため、この機会を捉え、本市への防災庁の誘致を決断したところです。

ながら、防災庁設置提案書の作成に向けた勉強会を開催し、8月を目前に、内閣府への提案書の提出につなげます。

3点目として、本市の防災庁設置の意義や必要性について、市民の理解を得るため、SNSを活用した情報発信を展開するとともに、あらゆる機会を捉え、各種防災イベント等と連携した啓発活動を行うなど、地域の機運醸成を図ります。



▲「防災庁」設置に向けた要望活動の様子

農業インフラ施設について

問 農業インフラ施設の今後の維持補修費の確保は。

答 今後とも農業従事者に寄り添いながら、多くの要望に对应えられるよう必要な予算の確保に努めます。



乳幼児健診の充実に向けて

問 10か月児健診の未受診者対策の充実は。

答 4か月児健診での受診勧奨のほか、健診を受けようという気持ちを起こさせるなど、ナッジ理論等を用いた案内の作成を検討しています。

【ナッジ理論】
選択の余地を残しながらもより良い方向に誘導、または、最適な選択ができない人だけをより良い方向に導くこと。

問 5歳児健診の導入は。

答 可能な限り早期に実施できよう、医師等の専門職の人材確保、健診後のフォローアップを行う支援体制の整備に努めます。また、本市独自の代替策として、7月から「5歳児サポート事業」を実施する予定です。

学校給食共同調理場の整備再編計画は

問 統合地域が広範囲になることで生じる課題を踏まえ、

統合対象校を縮小する考えは。
答 学校給食衛生管理基準により、適切な温度管理を行ないながら、調理後2時間以内で喫食できるように、適正な配送計画の検討など、安全・安心な給食の提供に努めます。



本市畜産業におけるめん羊・ヤギの取扱いは

問 放牧等の制限解除に向けて、これまでの取組は。

答 市では、国や県に対し、放牧による飼養の可能性について、調査・研究を進めるよう働きかけるとともに、生産者の声についても、機会を捉え伝えてきました。県では、生産者の要望を受け、令和5年度より放牧等の自主解除について、国と協議を重ねており、その結果、本年4月1日付けで放牧等の自粛の条件付き解除と飼養方法を定めた「食肉用めん山羊の飼養管理及び食肉用出荷等に関する方針」が策定されました。

錦町の雨水対策は

問 錦町の「大島ガード」西側の内水対策は。
答 大島ガードの西側約58haの区域、「錦中央排水区」は、区域内の雨水を水路等により二級河川中田川へ排水する計画とし、関係機関との協議を進めていきます。



浸水しやすい地域への対策は

問 外城下都市下水路の対策について、今後の具体的な取組は。

答 今後は、過去の被害状況や現地調査の結果を踏まえ、地区や関係機関と排水機能の改善点などを協議しながら、浸水リスクの低減に向けた対策の検討を進めていきます。併せて、流下能力を確保するため、引き続き、適切な維持管理に努めていきます。

問 中迎地区の内水対策について、地域からの要望に対しての今後の取組は。

答 今後の内水対策としては、二級河川中田川の整備状況も見据えながら、気候変動の影響を考慮した新たな計画降雨

に基づき、雨水幹線の拡幅やポンプ場の増強などについて検討していきます。なお、これらの検討や整備には、一定の期間を要することから、その間においては、雨水幹線の流下能力を確保するための適切な維持管理に努めていきます。



共産党市議員
塩 恭子

いわき市における 保育の問題は

問 障がい児保育の充実のための今後の取組は。

答 市が主催する研修への私立保育所職員の参加の促進や、療育機関等との連携による、より専門的な研修の開催等を通じて、障がい児保育における保育者の一層の資質向上を図っていきます。

こども誰でも通園制度は

問 こどもの安全を守る工夫はどのようにしているか。

答 対象児童及び保護者との面談で、児童の家庭環境や生活リズム、発育状況、既往歴、アレルギー情報等を詳細に聞

き取り、職員間で情報共有を図り、事故防止に努めます。



生理用品の公共施設の トイレへの設置等は

問 市役所にも設置すべきでは。

答 先行事例の情報収集やモデル的に試行することなどを検討していきます。

児童の通学支援に向けた 取組は



創世会
鈴木 さおり

問 通学移動支援の基準未満の児童にも市独自の支援の枠を広げるべきでは。

答 交通政策対策チームと連携を図りながら、児童に寄り添った対応ができないか、調

査・検討していきます。

市管理樹木の

今後の安全対策は

問 街路樹の安全対策は。

答 チェックシートを利用した職員による点検や外観診断を行い、必要に応じ専門家の精密診断を行います。

問 公園樹木の安全対策は。

答 日常点検時の簡易な剪定や継続的な状況確認、高所からの落ち枝が予測される場合には看板の設置や立入りの制限など安全確保に努めます。

ペット避難の整備体制は

問 将来的にペット同室避難を目指すべきでは。

答 関係部署及び関係機関と検討を進めます。



▲ペット同行避難訓練の様子



真政会
吉田 雅人

公平、公正な選挙運動及び政治 活動を実現するための取組は

問 公職選挙法違反や違反と思われる事象をどの様に把握しているのか。

答 市民からの問合せや報道、政治活動用看板等の現地確認により把握しています。

問 違反と思われる事象に対する選挙管理委員会の対応は。

答 選挙は取り締まる権限を有しないため、法に抵触すると思われる事象には、状況に応じ注意喚起、指導などを行うとともに、捜査機関である警察に情報提供をしています。

問 公職選挙法第199条、いわゆる寄付行為について、一部報道で不正疑惑が向けられている。選挙の役割・立場の中で出来得る事をしっかりとやるべきと考えるが、所見は。

答 選挙の公明かつ適正な実施のため、さらなる啓発に努め、選挙に必要な事項を、あらゆる機会を捉えて周知します。法に抵触すると思われるような事象を把握した際には、警察とより一層連携を密にし

全国市議会議長会

令和7年5月20日、全国市議会議長会第101回定期総会において、市議会議員として市政の振興に努められた次の3名が表彰されました。

また、全国市議会議長会社会文教委員会委員として、会務運営の重責に当たられた次の2名に感謝状が贈られました。

◆受賞者

議長として4年
大峯 英之 議員

在職20年以上
菅波 健 議員

在職20年以上
小野 邦弘 議員

社会文教委員会
委員として
大峯 英之 議員

社会文教委員会
委員として
永山 宏恵 議員

社会文教委員会
委員として
永山 宏恵 議員



◀アロハ議会の様子



6月定例会では、本市の魅力を発信するとともに、地球温暖化防止及び省エネルギー対策の一環として、議員、理事者ともにアロハシャツを着用して、本会議に臨みました。

議員定数のあり方検討に係る議員研修会



いわき市議会では、議員定数のあり方及び議員の長期欠席の取扱いに関する検討特別委員会を設置し、広域多核都市である市の特性や議員活動を通して得られた市民からの意見、さらには本市議会の議会基本条例に掲げる「市民の負託に全力で応え、市民に信頼され続ける議会を実現」という理念に基づく議会及び議員の活動原則などを踏まえ、議員定数のあり方等について検討しています。

▼議員研修会の様子

令和7年6月17日、議員定数のあり方を検討するに当たり、議論の深化を図ることを目的として、議員全員を対象とした研修会を実施しました。

講師 拓殖大学 政経学部 教授 河村 和徳 氏



次期定例会日程(予定)のお知らせ

次期定例会は10月23日(木)から11月7日(金)までの会期で開催される予定です。

月 日	開会時刻	会議内容
10月23日(木)	午前10時	本会議(初 日)
10月24日(金)		休 会
10月25日(土)		休 会
10月26日(日)		休 会
10月27日(月)	午前10時	本会議(一般質問)
10月28日(火)	午前10時	本会議(一般質問)
10月29日(水)	午前10時	本会議(一般質問)
10月30日(木)	午前10時	本会議(一般質問)
10月31日(金)	午前10時	常任委員会
11月1日(土)		休 会
11月2日(日)		休 会
11月3日(月)		休 会
11月4日(火)	午前10時	常任委員会
11月5日(水)	午前10時	特別委員会
11月6日(木)		休 会
11月7日(金)	午前10時	本会議(最終日)

※ 日程、開会時刻は質問者数や議事の内容等により、変更になる場合があります。

表紙写真

夏を代表する風物詩、鮎釣り。縄張りを持つ野鮎におとり鮎を泳がせて掛ける「友釣り」は、日本古来の伝統漁法です。海から天然鮎が遡上する鮎川や四時川は、いまでも自然の恵みに満ちた清流であり、解禁日には全国各地から多くの釣り人が竿を垂らします。川を管理する鮎川漁業協同組合は、稚魚の放流や環境保全に取り組み、清らかな流れと魚影が映える、いわきならではの川の風景を守り続けています。

6月議会は、毎年恒例のアロハ議会でした。地球温暖化の環境対策と、いわきのシテイセールの取組です。色とりどりの華やかさとは裏腹に、きりっとした真剣な議論が交わされました。議会の様子はホームページから動画や議事録で見ることができますが、現場でこそ感じられる迫力もあります。皆さん傍聴してみたいかがでしょうか。いわき市議会は、今後も開かれた議会を目指し、努力してまいります。(議会報編集委員会)

